

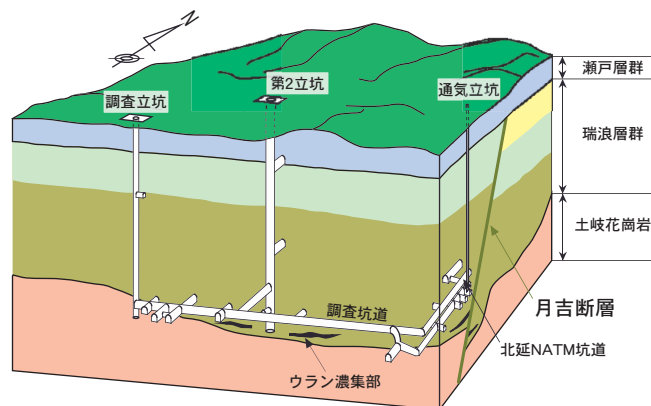
3. 東濃鉾山における調査試験研究

(1) 概要

東濃鉾山における調査試験研究では、既存の坑道やボーリング孔を利用したり、地下水や岩石の試料を採取して分析を行うことにより、地下深部における岩盤力学に関する研究、坑道周辺の地質環境に関する研究およびナチュラルアナログ研究を行ってきました。東濃鉾山の坑道を利用した調査試験研究は、平成15年度をもって終了しました。

(2) 平成15年度の業務実績

岩盤力学に関する研究では、これまでに開発した応力測定装置の性能試験および長期岩盤挙動の坑内観測を行いました。坑道周辺の地質環境に関する研究では、ボーリング孔を掘削するときに発生する音を利用して地質構造を推定する調査や地下水の長期観測を行いました。また、ナチュラルアナログ研究として、物質の移動や月吉断層に関する研究を継続し、ウラン鉾床を長期間にわたり保存している地層の特性などを研究しました。



東濃鉾山の概要



坑道におけるボーリング掘削作業



長期岩盤挙動の坑内観測



掘削音から地質構造を推定する調査

(3) 平成16年度の業務計画

平成16年度以降は、これまでに得られた知見を取りまとめ、研究成果を広く公開していきます。なお、ナチュラルアナログ研究は、地質環境の長期安定性に関する研究の一環として、月吉鉾床を対象として地表から実施します。